

イネカメムシの発生が多くなっています。適期に防除しましょう!!

令和7年7月16日

茨城県県南農林事務所稲敷地域農業改良普及センター

斑点米カメムシ類（イネカメムシ、クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメ）

【被害】籾を吸汁することで不稔や玄米に斑点が生じる。

また、被害が多いと品質や収量が低下する。

表1 水田内における斑点米カメムシ類の地域別生息状況（令和7年7月上旬調査）

地域	調査 地点数	すくい取り虫数(頭/10回振り)			発生地点率(%)		
		本年	平年 ¹⁾	順位 ²⁾	本年	平年 ¹⁾	順位 ²⁾
県北	8	7.25	0.71	1	50	24	1
県央	15	0.83	0.27	1	60	20	1
鹿行	6	0.83	0.09	1	33	13	2
県南	19	1.42	0.41	2	32	14	2
県西	9	3.28	0.87	2	44	21	3
全県	57	2.32	0.46	2	44	17	1

1) 平年:平成27年～令和6年までの10年間の平均値を示す。

2) 順位:本年を含む過去11年間における本年値の順位を示す(2-3は2位から3位まで同じ数値であることを表す)。

病害虫発生予察注意報第1号より（茨城県病害虫防除所）

水田内のすくい取り調査をした結果、**発生量はやや多い～多い**



イネカメムシ

(上:成虫、下:幼虫)

～イネカメムシに対する薬剤散布のポイント～

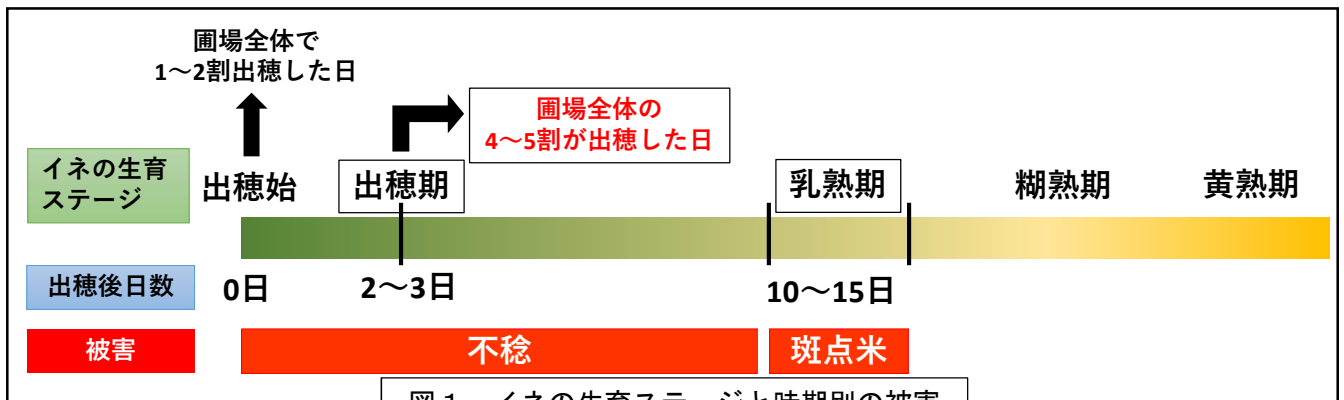


図1 イネの生育ステージと時期別の被害

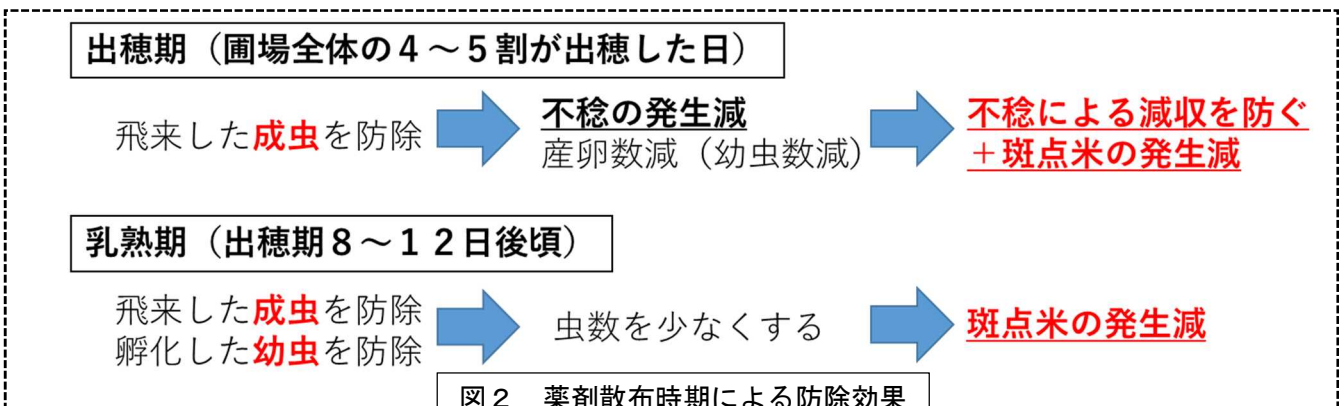


図2 薬剤散布時期による防除効果

適期防除が重要です！特に、イネカメムシの防除適期は**出穂期**なので、
早めの散布を心がけてください！

発生量が多い場合は、
2回散布を検討してください！
その場合は・・・

出穂期（1回目） → **追加防除**（2回目）
さらに**7～10日後**